

# Vision2030

## 未来への選択と最高の質の追求

### 1

#### 事業戦略

### 基本方針 | 時代変化に伴う大胆な選択と、更なる質の追求

重要課題		テーマ
1-1	地域ニーズ・事業ニーズに応じた選択と集中	「地域社会に即したサービス提供体制の強化」 地域社会のニーズに応じた選択と集中を進め、事業の効率化と規模の最適化を図ります。 また必要に応じ、合併や事業譲渡などの手法を通じて、高品質な医療・福祉サービスを提供する体制を整備し、地域の期待に応えます。
1-2	利用者と職員の安心・安全の確保	「利用者と職員の安心・安全を最優先に、質の高い医療・福祉を提供する」 利用者の健康を守るため、最適な医療・福祉サービスを提供し、安心して過ごせる環境を整えます。 あわせて、職員の健康と働きやすさにも配慮し、心身ともに安心して業務に専念できる職場づくりを進めることで、全員が質の高いサービスを継続的に提供できる体制を整えます。

### 2

#### 組織戦略

### 基本方針 | 働きがいと成長に向けた制度の再設計

重要課題		テーマ
2-1	新人事制度の導入	「新人事制度の導入で組織文化を刷新し、職員の意欲を高める」 職員の更なる成長と組織の発展を支えるため、新しい人事制度を開始します。 この制度は、職員の役割や貢献度に応じた公正かつ透明な評価を行い、個々の職員が自身の成長を実感できる環境を提供することを目的としています。
2-2	人材確保と多様性の推進	「多様な人材の採用と育成を通じて、組織力を強化する」 外国人やシニア層、障がい者などの人材の積極的な採用を進め、背景や文化的な違いを理解した上での協働を推進します。 多様なバックグラウンドを持つ人材を受け入れ、地域ごとのニーズに応じた柔軟な組織文化を築きます。
2-3	理念浸透とコミュニケーションの強化	「開かれたコミュニケーションで強固な組織文化を育む」 職員が意見を言いやすく、やりたいことを共有できる職場環境を整え、信頼に基づく組織文化を育みます。 現場からのフィードバックを大切にし、現場と経営が一体となって目標に向かう中で、理念を現場に浸透させ、組織としての一体感を育てます。 こうした取り組みにより、組織のブランド価値を高め、持続的な成長と社会的信頼の獲得を目指します。
2-4	社会的責任の遂行と透明性の確保	「社会に対する責任を果たし、透明性のある運営を行う」 コンプライアンス(法令遵守と社会的要請への適応)の徹底とガバナンス(健全な組織運営に必要な管理と内部統治)の強化により、利用者の安全と尊厳を守る信頼性の高い体制を構築することで、社会的責任を果たします。 また、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえた活動を推進し、地域社会との連携を強化します。 活動内容や成果をわかりやすく広報することで、社会との信頼関係を築きます。

### 2

#### 組織戦略

重要課題		テーマ
2-5	質の高いサービス提供を支える新たな職員育成の拡充	「医療福祉分野における職員の学びとスキル向上を促進する新たな職員育成」 専門的な医療・福祉サービスを提供するためには、職員の継続的な学習とスキルアップが必要です。 育成体制を強化し、実践的な研修やeラーニング等の導入を通じて、職員一人ひとりの成長をサポートします。 また、医療と福祉の分野を超えた学びを提供することで、更なるサービスの質を向上させます。
2-6	働きがいと暮らしやすさを両立する働き方の推進	「柔軟な就労環境の整備による職員定着と活躍支援」 在宅勤務の導入をはじめ、ライフステージや職種等に応じた多様で柔軟な働き方を推進します。 職員一人ひとりの状況に配慮しながら、ワークライフバランスの実現と働きがいのある職場づくりを進め、誰もが安心して長く働き続けられる環境を整備します。

### 3

#### 運営戦略

### 基本方針 | 生産性の高い運営体制の構築

重要課題		テーマ
3-1	聖隷DXによる業務の質の向上	「デジタル技術によるサービスの質を向上させる」 聖隷DXを推進し、サービスの質を高める取り組みを進めます。 データ管理や記録の電子化を通じて、情報の正確性やタイムリーな共有を実現し、意思決定を支援します。 また、利用者との接点を強化するデジタルツールを活用し、個別ニーズに応じた質の高い対応を可能にします。 これにより、持続的で高品質なサービスを提供する体制を構築し、価値のある体験を提供します。
3-2	健康経営とメンタルヘルス対策	「職員の心身の健康を守るための取り組み」 職員の心の健康は、サービスの質に直結する重要な要素です。 健康経営の一環として、健康推進室を中心にメンタルヘルス対策を強化し、ストレスチェックや相談体制の充実、早期発見・対応の仕組みを進めています。 職員が安心して働ける環境を整え、心の健康を支える体制づくりに引き続き取り組んでいきます。
3-3	業務の標準化と集約化による生産性向上	「業務の標準化と集約化で組織全体の生産性を向上させる」 業務の標準化を推進し、すべての施設において均質かつ高品質なサービスを提供できる体制を構築します。 シェアードサービスセンター（SSC）の活用に加え、各種業務の集約・再編や体制整備を進めることで、経理・人事・総務などのバックオフィス業務を効率化します。また、ICTの積極的な活用や業務プロセスの見直しを通じて、業務の簡素化と生産性の最大化を図ります。
3-4	施設の再整備と機能向上	「医療・福祉の質を支える施設機能の再構築」 老朽化した施設について、現場で求められる機能に対応できるよう、大規模修繕や建替えなど計画的な再整備を進めます。 設備の機能性向上や、空間配置の最適化により、実践的で支援のしやすい施設環境を整えます。 これにより、医療福祉の多様なニーズに応えられる、質の高い施設整備を図ります。

### 4

#### 財務戦略

### 基本方針 | 経営効率の向上と財務基盤の強化

重要課題		テーマ
4-1	現有資源を有効活用し経営環境の急変にも揺るがない財務体質	成長性：サービス活動収益の前年比成長率…………… 2%以上(2030年度サービス活動収益1,500億円以上) 収益性：税引前当期活動増減差額…………… 15億円以上(5年間累計75億円以上) 効率性：職員1時間あたりのサービス活動収益の前年比成長率……… 2.2%以上(2025年度比12%以上) 安定性：純資産比率…………… 50.6%以上(2030年度末)